

ブラジルでパワーステアリング生産開始

Power Steering Production begun at KSB

Koyo Steering Brasil LTDA(以下KSBと称す)は、1998年7月に、ブラジル・パラナ州ピラクアラ市に、南米での生産拠点の拡充によるグローバル供給体制の構築、およびメルコスール圏内(ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ)での製品・部品の相互補完体制の確立のためSMI(フランスにある光洋精工とルノーとの合弁会社)の100%子会社として設立されました。KSBは、準備期間を経て、1999年9月より生産開始し、当面は油圧パワーステアリング、将来的には省エネルギー型の電動式パワーステアリングや電動ポンプ式油圧パワーステアリングを生産する予定です。

KSBは、ブラジル・ルノーをはじめ現地に進出している欧州の自動車メーカー向けに納入し、順次他メーカーへも供給を拡大していきます。1999年12月には、在クリチバ日本総領事、在クリチバフランス名誉領事、ルノーなど関係者約200人が出席し、開所式が行われました。開所式では、パラナ州副知事とピラクアラ市長からも祝辞が述べられ、パラナ州内の雇用機会創出に貢献していることに対する感謝の意、そして今後の発展に対して期待の言葉が贈られました。KSBは、2002年には、生産台数31万台、売上高54百万ドル、従業員数93人という規模になる見込みです。



ラック&ピニオン式パワーステアリング



工場の作業風景



KSB工場



KSB所在地

(海外事業管理部 川合 徹)